

ユーラシア大陸徒歩踏破 の報告会

2011年11月3日

東京都立大学ワンダーフォーゲル部OB

ユーラシアを歩く会

会長 早川東城

ワングルOB活動の求心力

この支えは、仲間とともに、山や里をテント持参で歩いたこと。



《アルバトロス創刊50周年記念号》

春の甲斐駒

目次

《アルバトロス創刊50周年記念特集》

- ・ (1) アルバトロスはなぜアルバトロスなのか 桜井 剛久 (2)
- ・ (2) 祝! アルバトロス50周年 成能 俊邦 (4)
- ・ (3) ワングルの部活動等をふりかえって 中野 政時 (6)
- ・ (4) 30年前のワングル一統漕ぎの夏合宿 森浦 敏雄 (8)
- ・ (5) 1986年から1989年 変化の始まり 渡辺 豊彦 (10)
- ・ (6) 新生ワングルは大震災の年か 辻 辻
- ・ 新OB紹介 風間
- ・ OBスキー大会2011 栗田
- ・ <ユーラシアを歩く会> 生和多
- ・ 大学同窓会29年総会で<ユーラシア会>の活動を報告 和田
- ・ 会計報告 梶見
- ・ (7) 50年の時代を写す(写真) 表紙絵・カット

- ALBATROSSの発行
- 山小舎「木賊小屋」建設
- ホームページの開設



ユーラシアを歩く会発足

ロンドン～東京 2万キロ

- 1995年 ワンダーフォーゲル部 OB会の40周年総会で提案
- 全て自己責任
- 参加者の意欲向上とOB間相互活動の活性化
- ロンドンから東京まで、10年くらいの目標
- 定年後のゆとりのある時間を楽しむ

壮大な構想に緻密な計画

歩行のルール

- ・OB会の仲間や家族などと歩き足跡を繋げる。
- ・途中であった人に、通行のサインを貰う。
- ・安全を第一に、夜はホテルに宿泊。
- ・ヨーロッパは一人で歩いてもよい。トルコから東は、ガイドを雇いグループで行動する。
- ・出発前に計画書を、帰ったら報告書を提出、それをHPへ掲載する。

歩行全ルート

ユーラシア大陸 16,200キロ、通過19カ国

グリニッチ天文台
1996年9月



歩行結果

19カ国を通過、50人のワンゲルOBが家族・友人と共に
延べ306人、71区間を15年間でルーして歩行

通過証明

各国の言葉で

英語

フランス語

ドイツ語

ハンガリー語

ロシア語

グルジア語

トルコ語

中国語

韓国語

日本語

Betr. WANDER-BESCHEINIGUNG

Sehr geehrte Damen und Herren,

Wir sind eine Gruppe von Japanern, die auf der Tokyo Metropolitan Universität zu einer Wanderevogel-Gruppe gehört haben.

Nun haben wir uns gemeinsam das Ziel gesetzt, von London nach Tokyo in Staffeln zu laufen.

Mein Wanderkollege und ich haben uns die Strecke
— vorgenommen.

Wir wären Ihnen sehr dankbar, wenn Sie uns jeweils bestätigen könnten, daß wir die unten angegebene Strecke zu Fuß zurückgelegt haben.

WANDER-BESCHEINIGUNG

Hiermit bestätige ich, daß Sie die unten angegebene Strecke zu Fuß zurückgelegt haben.

Ort Datum Unterschrift

交流

通過証明をもらう

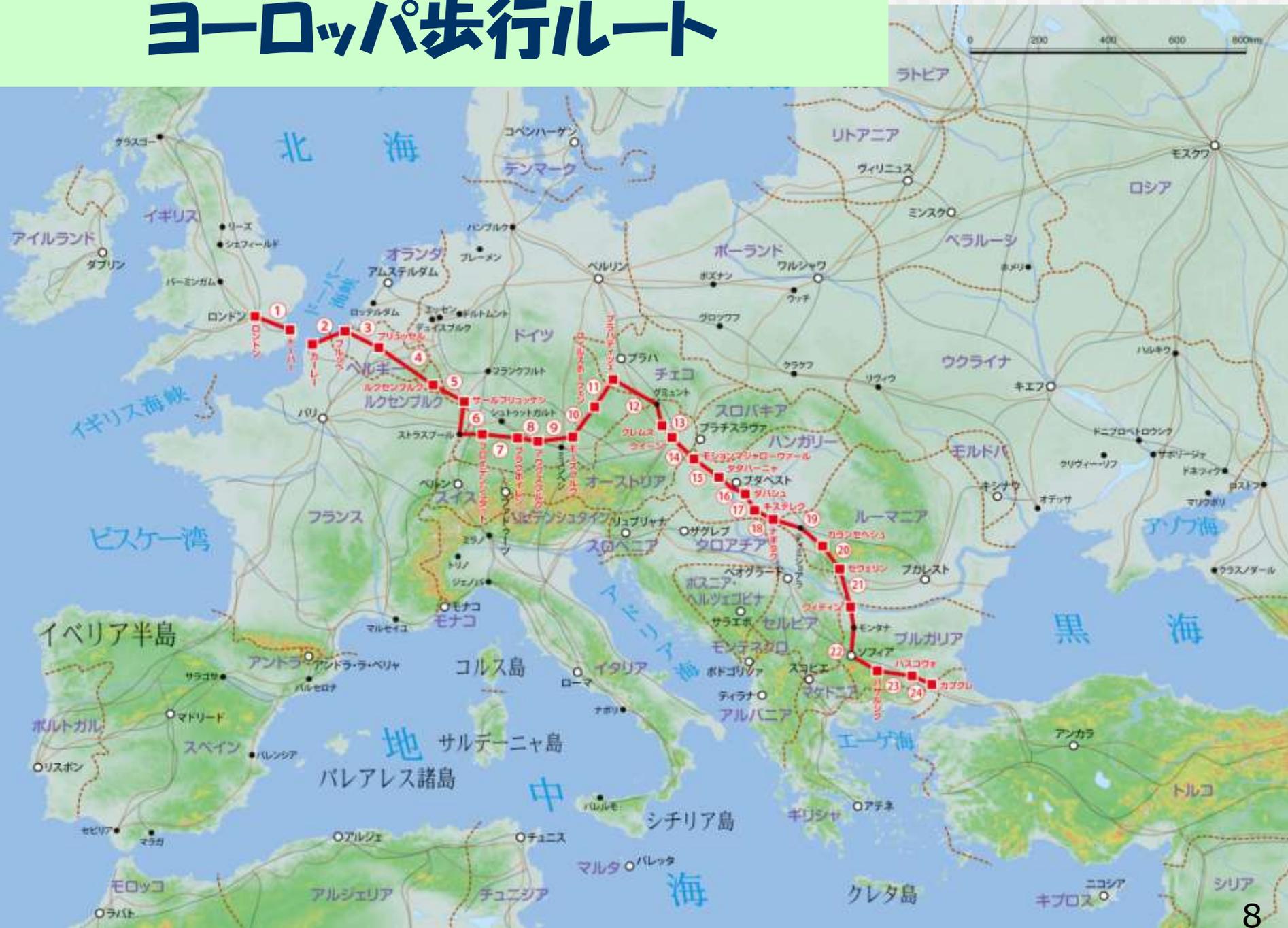


中国西部5から

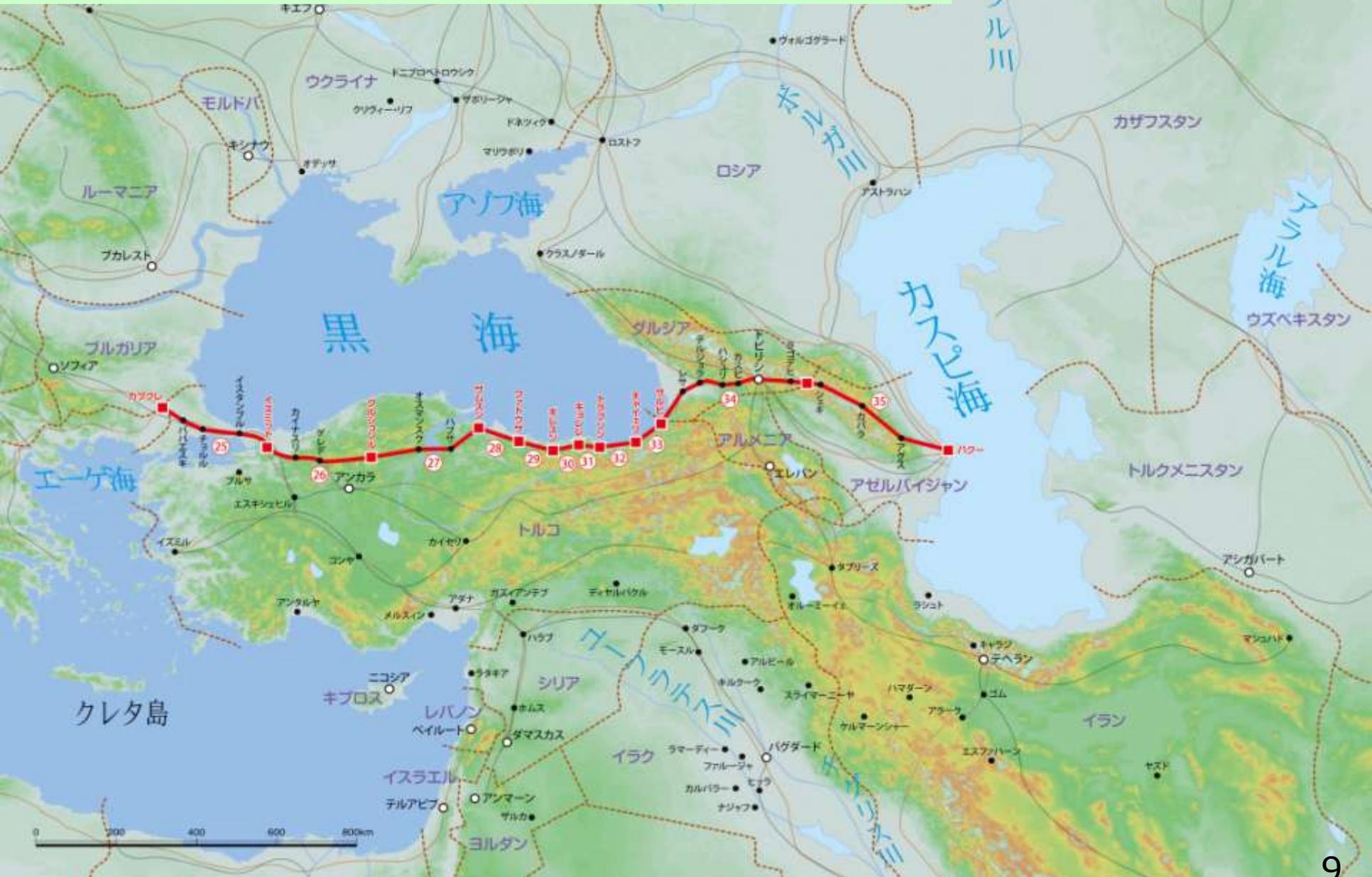


サイクリング中の韓国人と交流(中国東部1から) 7

ヨーロッパ歩行ルート



トルコ歩行ルート



歩き方の対応の変更

- ヨーロッパは一人歩きOK
- トルコはミニバスを利用したグループ歩行
- 中央アジア(旧ソ連圏:地図入手困難、情報不足、言葉の問題)

現地法人のご協力: ルート調査・旅行業者・通訳・伴走車の手配など

歩行を繋ぐ



中国西部5から

中央アジア歩行ルート



中国歩行ルート



中国の道



中国西部4から





韓国・日本歩行ルート



歩いた、見た、感じた

- メンバーからの報告
- 出会ったトラブル
- 報告・発表・エッセイ集・写真集など
ホームページURL:<http://tmuwvob.com>

ユーラシアを歩く旅とは？

人々との出会いの旅

04年 トルクメニスタン
大キズカラ遺跡

- 多くの人たちの笑顔と親切に触れた。
- 普通の旅行にはない発見や体験があった。
- 現地の人には「お金がないから歩いて旅をしている」と理解した！？
- 「一人ひとりが得意技を生かし参加」が達成に

皆さんへのメッセージ

2008年 中国・甘肅省

- 異文化や宗教、人々に敬意を持って接する。
- 世界に出たら、自分のことを自分の言葉で語れることが大切。
- 同じ目的を持った仲間とのつながりが大きな力
- 「参加の楽しさ、新しい発見」が次の行動へ。

A photograph of a person leading a horse-drawn cart through a forest. The cart is heavily loaded with a large pile of harvested crops, likely corn cobs. The person is walking alongside the horse, guiding it. The forest consists of tall, thin trees with sparse foliage, suggesting an autumn or winter setting. The lighting is soft and diffused, creating a serene atmosphere. The path is a narrow dirt road that recedes into the distance.

完

ご清聴誠にありがとうございました。